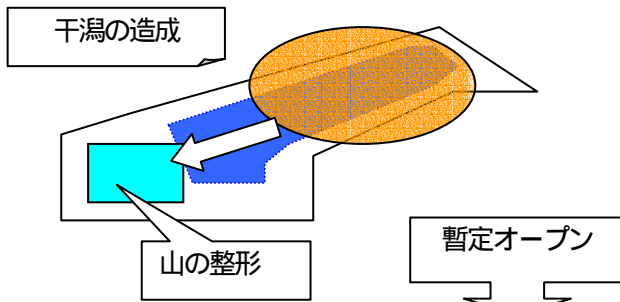
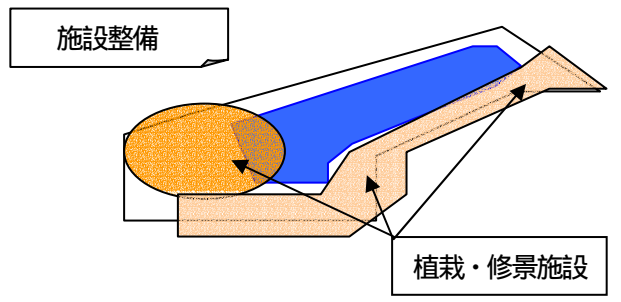
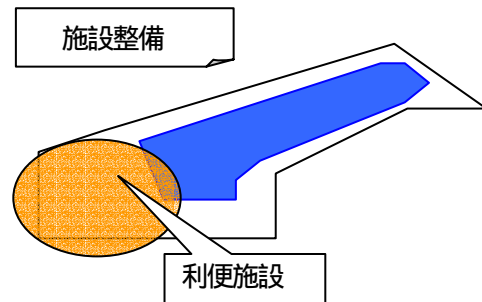


【計画の見直しについて】

見直しの概要	<p>緑地タイプの見直し</p> <p>レクリエーション等多機能を有する都市公園的な緑地 → 自然系の緑地</p>		
コスト縮減	<p>(項目)</p> <p>緑地タイプの変更による施設内容の見直し 土工(切盛土)バランスの精査 植栽エリアの一部を自然系に委ねることとした 利便施設の整備手法の検討</p> <p>事業費 11.7億円 → 5.5億円</p>		
段階的整備	<p>フェーズ 着手から5年</p>  <p>干潟の造成 山の整形 暫定オープン</p>	<p>フェーズ フェーズ完了から5年</p>  <p>施設整備 植栽・修景施設</p>	<p>フェーズ</p>  <p>施設整備 利便施設</p>
施設概要	供用に必要な施設	修景施設整備	利便施設整備(付加価値を高めるもの)
整備手法	府事業	府事業 (市民等と協働した)植栽の実施(MAX0.6億円)	NPO等関係機関と協働した整備 (MAX2億円)
事業費	4.2億円	MAX 1.3億円 MIN 0.7億円	
市民等との協働	<p>(整備) 利用状況・野鳥の飛来状況等により実施内容を検討 整備手法の検討</p> <p>ワークショップ等の開催</p> <p>市民等と協働した植栽の実施</p> <p>NPO等関係機関と協働した整備</p> <p>(管理) 市民・NPO・ボランティアによる維持管理の実施</p> <p>(利用) 市民・NPOによる野鳥観察会の実施</p> <p>HP・広報による情報提供</p> <p>環境教育の場として提供</p> <p>環境づくりの研究の場</p>		